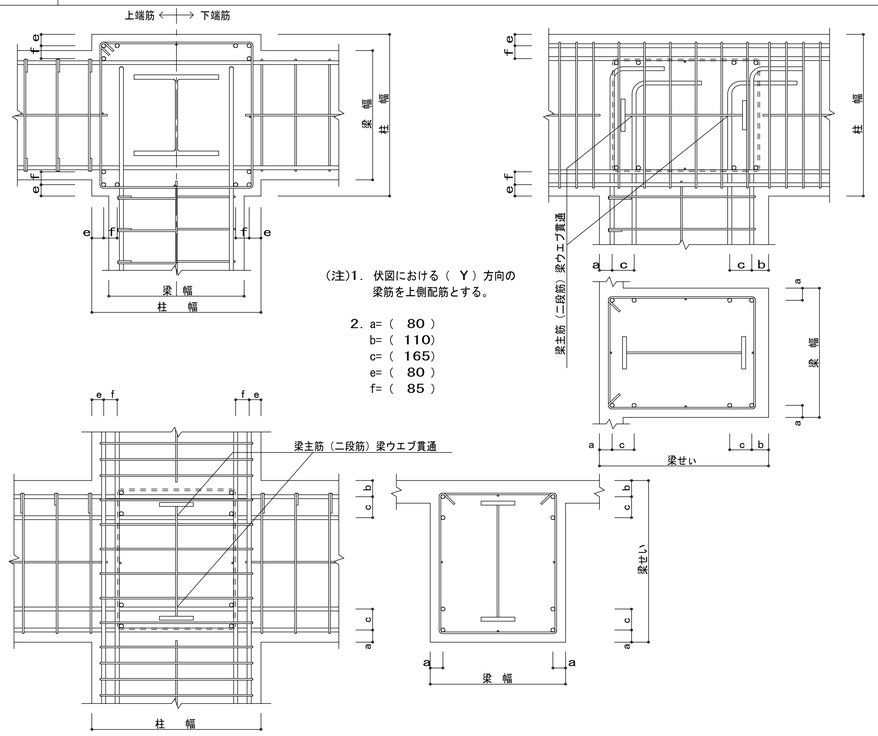
標準配筋要領図(9)

注)1. 図表中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する。
2. 図中の (要) は本標準配筋要領図を示す。（例えば(要) 0.3「組立」は、標準配筋要領図0.3「組立」の項を示す。）
3. 図中の (標) は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版」を示す。(例えば、 (標)表5.3.2は、標準仕様書の表5.3.2を示す)

9節　SRC配筋要領図

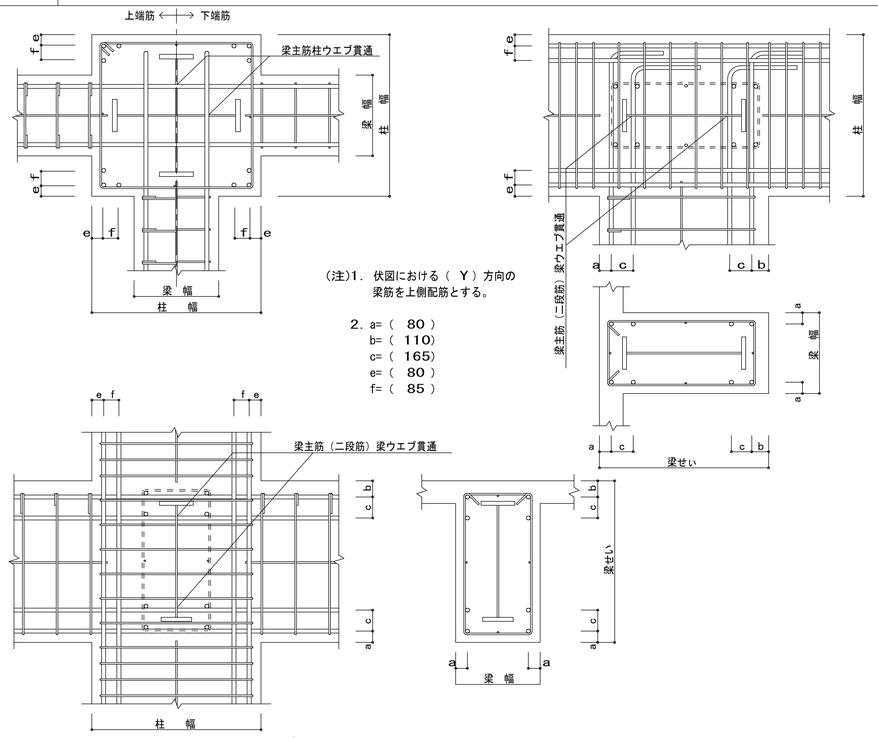
9．1　SRC柱梁接合部の配筋要領（1）



(注)1. 伏図における（ Y ）方向の梁筋を上側配筋とする。

2. a=（ 80 ）
b=（ 110）
c=（ 165）
e=（ 80 ）
f=（ 85 ）

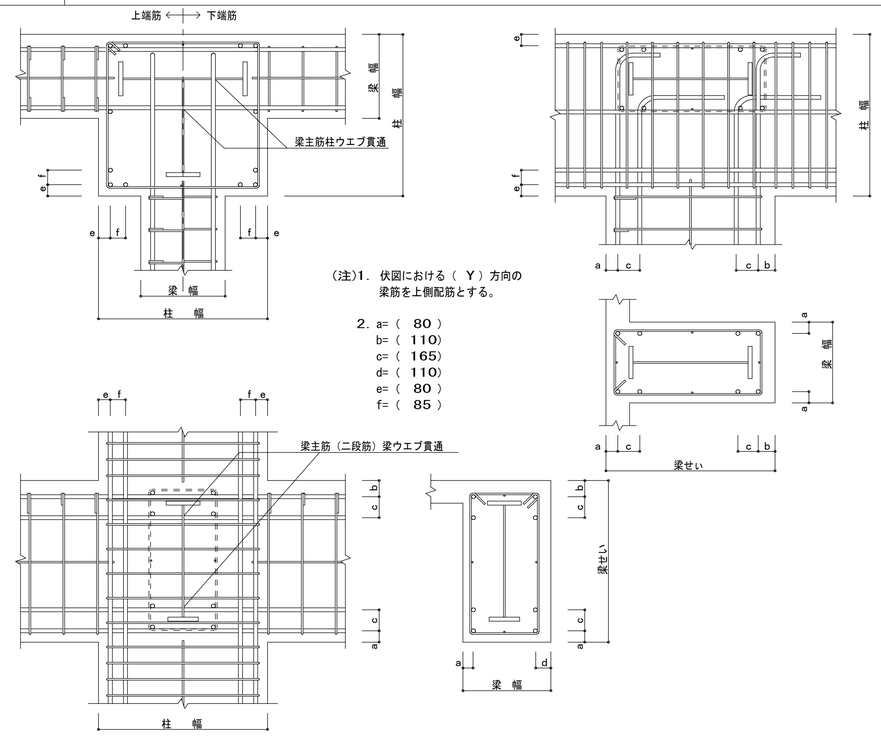
9．2　SRC柱梁接合部の配筋要領（3）



(注)1. 伏図における（ Y ）方向の梁筋を上側配筋とする。

2. a=（ 80 ）
b=（ 110）
c=（ 165）
e=（ 80 ）
f=（ 85 ）

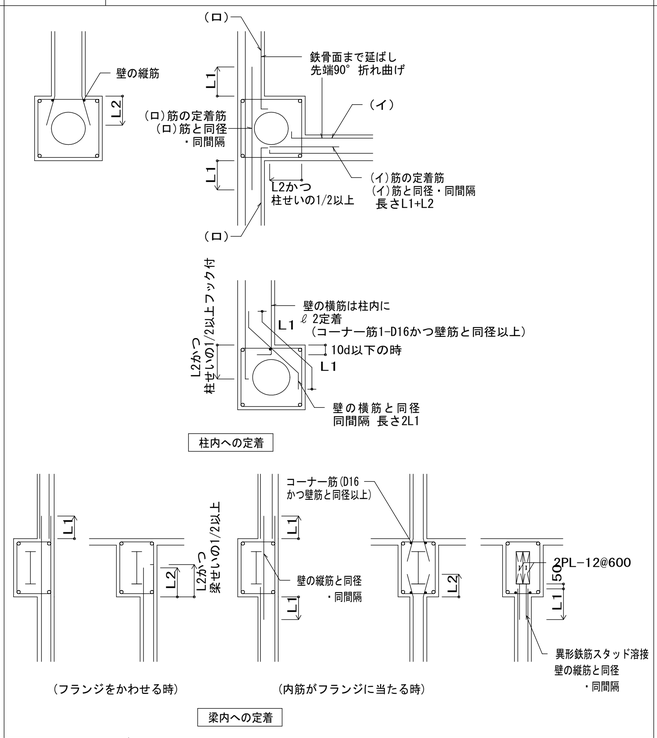
9．3　SRC柱梁接合部の配筋要領（4）



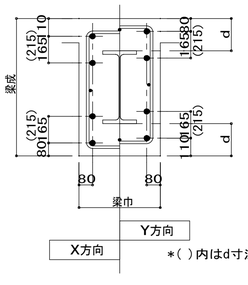
(注)1. 伏図における（ Y ）方向の梁筋を上側配筋とする。

2. a=（ 80 ）
b=（ 110）
c=（ 165）
d=（ 110）
e=（ 80 ）
f=（ 85 ）

9．4　壁筋定着要領



9．5　梁主筋位置・貫通孔径



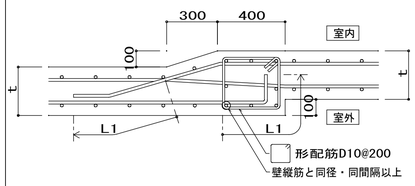
鉄骨貫通孔径	
鉄筋径	貫通孔径
D10	24
D13	24
D16	28
D19	31
D22	35
D25	38
D29	43

＊( ) 内はd寸法が200の場合を示す。

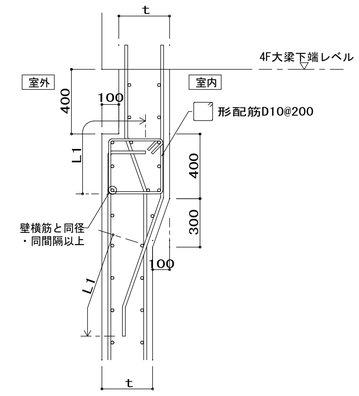
10節　その他

10．1　耐震壁クランク部の配筋

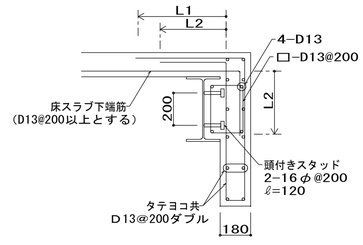
(a) 平面クランク



(b) 断面クランク(2F 16通り Ⓑ-Ⓓ通り間)



10．2　鉄骨梁側面の垂壁配筋



着工	平成 28年 6 25			本標準配筋要領図に使用される記号							
竣工	令和 元年 11 30			B	リストに示す梁幅	L2	一般鉄筋の定着長さ	W	屋根・床スラブの開口（長辺方向）の大きさ	ℓ	梁のスパン、片持ちスラブのスパン
監理	監理　日建・上田特定監理業務等共同企業体			D	リストに示す柱幅	L3	小梁、スラブの下端筋の定着長さ	d	鉄筋の呼び名に用いた数値	ℓo	梁の内法スパン
				E, F	柱梁の打増寸法	L1h	フックあり継手及び定着長さ	h	階高	ℓx,ℓy	長方形スラブの短辺有効スパン
施工	施工　大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体			H	リストに示す梁せい	L2h, L3h	フックあり定着長さ	ho	柱の内法高さ	t	リストに示すスラブ又は壁厚さ
				L1	一般鉄筋の継手及び特殊な場合の定着	P	壁開口（円孔）の大きさ				

完成図　構-21

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課						
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長	

高知市新庁舎建設工事

標準配筋要領図（8）

(構) 21
3 － 8

NO. 0－140004－B